

2014年4月3日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 常磐線友部・内原間に大規模太陽光発電設備を設置します

- JR 東日本は、再生可能エネルギーの導入を積極的に推進しており、グループ経営構想 V『今後の重点取り組み事項』のひとつに掲げております。これまでに東京駅や平泉駅、京葉車両センター等に太陽光発電設備を導入したほか、風力や地熱の再生可能エネルギーの調査検討を行うなど、地球環境保護に取り組んでまいりました。
- この度、常磐線友部・内原間に4メガワット級の大規模太陽光発電設備を設置することが決まりましたのでお知らせします。
- 今後も当社用地を活用して他箇所での導入拡大を検討するとともに、再生可能エネルギーの普及促進に貢献してまいります。

### 1 今回設置する太陽光発電設備の概要

設置箇所	常磐線友部・内原間【別紙】 茨城県笠間市、水戸市
定格発電出力	4,200kW
設置面積	約 69,000 m <sup>2</sup>
想定年間発電電力量	約 437 万 kWh(一般家庭 約 1,200 世帯分に相当)

### 2 工事着手予定

2014年4月

### 3 使用開始時期

2014年度予定

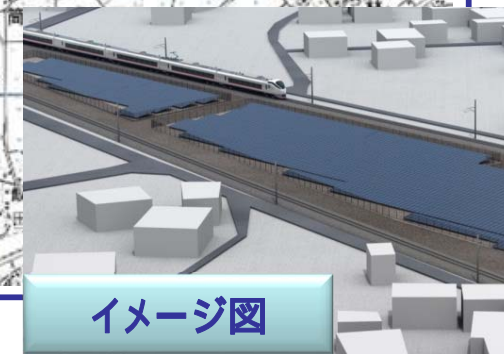
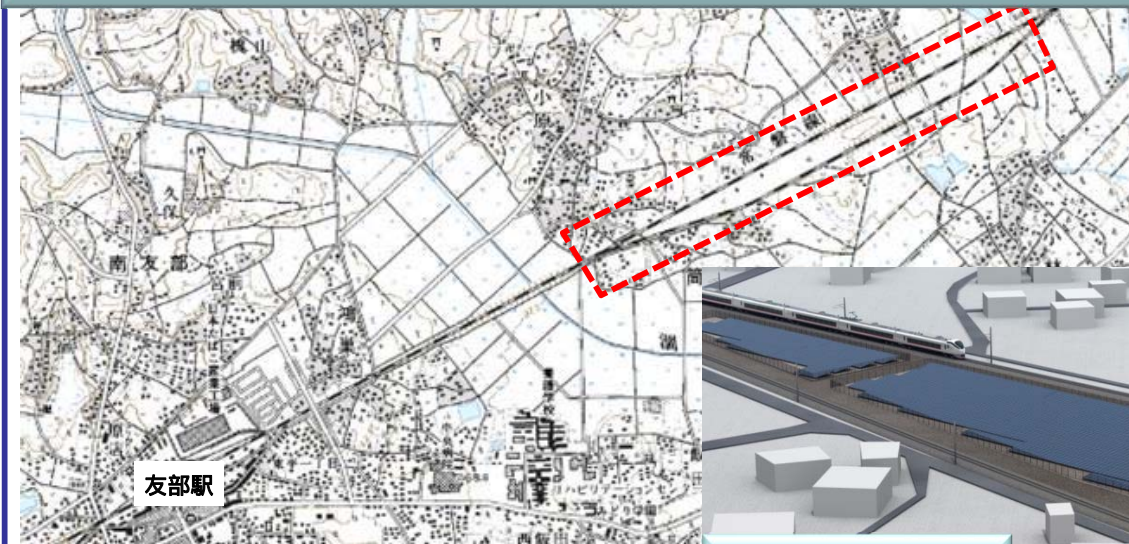
秋田県潟上市 導入検討中

岩手県花巻市 導入検討中

新潟県新潟市 導入検討中

群馬県高崎市 導入検討中

常磐線友部・内原間 出力4,200kW



イメージ図

京葉車両センター構内 2月28日使用開始 出力1,050kW

